

大阪インターナショナルチャーチ  
ジョセフ・トッティス牧師  
2014年4月13日

## ペテロの手紙 第二3章

**2ペテロ 3:1** 愛する人たち。いま私がこの第二の手紙をあなたがたに書き送るのは、これらの手紙により、記憶を呼びさまさせて、あなたがたの純真な心を奮い立たせるためなのです。

ペテロは、同じことを繰り返し教えることの重要性を心得ていました。実際に、反復学習は有効です。この第二の手紙が書かれた目的はまさにそれです。信徒の記憶を呼び覚まし、奮い立たせるためです。

**2ペテロ 3:2** それは、聖なる預言者たちによって前もって語られたみことばと、あなたがたの使徒たちが語った、主であり救い主である方の命令とを思い起こさせるためなのです。

ペテロは手紙の読み手に、神の教えのすべてと、みことば全体を心に留めてほしいと願いました。

みことば全体とは、  
1. 聖なる預言者たちによって旧約聖書に書かれたもの。

また

2. イエス・キリストについて使徒たちが新約聖書に書き残したもの。

です。

とは言え、最初からみことばを知らなければ、記憶を呼び覚ますことはなかなかできません。例えば、イエスは聖霊についてこうおっしゃいました。

**ヨハ 14:26** しかし、弁護者、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたしが話したことをことごとく思い起こさせてくださる。

一度も聞いたことのないことを思い起こすことができるのでしょうか。ペテロは、真理を知りなさいと勧めます。真理の一部だけではなく、新約聖書だけではなく、真理の全体、神の教えの全容、つまり旧約聖書も知りなさいというわけです。

皆さんもご存じのとおり、水曜の夜に私が教えていた創世記から士師記までの学びが先日終了しました。ダン・ペリー師が水曜夜の学びを新たに始められ、創世記から始めて一年で聖書全体を学ぶ予定です。木曜朝には、申命記の学びが行われています。また、インターネットでもあらゆる資料があります。ペテロは、神のみことばの真理を知ると念押しします。救われるために必要な律法の条件をペテロが私たちに押し付けようとしているではありません。むしろ、警告です。

先週学んだように、偽物を見抜く一番の方法は、本物を知ることです。だまされたくなければ、本物を知らなければなりません。もし誰かが、エイミーは豚肉が好物だと言ったら、私はすぐにその人が嘘をついているか、誤解しているかどちらかだとわかります。エイミーが豚肉は好きでないと知っているからです。同じように、私たちがみことばを知る必要があります。イエスは、弟子たちのために父なる神に向かって次のように祈られました。

**ヨハネ 17:17** 真理によって彼らを聖め別ってください。あなたのみことばは真理です。

神のみことばは真理であり、神のみことばの真理は私たちに自由にするのです。イエスはおっしゃいました。

**ヨハネ 8:32** そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。

何から自由になるのでしょうか。私たちがくじけさせたり、分裂や誘惑をしかけたりして、私たちに破滅に追い込もうとするサタンの嘘やまやかしから自由になるのです。ペテロは続けます。

**2ペテロ 3:3-8** まず第一に、次のことを知っておきなさい。終わりの日に、あざける者どもがやって来てあざけり、自分たちの欲望に従って生活し、

**4** 次のように言うでしょう。「キリストの来臨の約束はどこにあるのか。父祖たちが眠った時からこのかた、何事も創造の初めからのままではないか。」

**5** こう言い張る彼らは、次のことを見落としています。すなわち、天は古い昔からあり、地は神のことばによって水から出て、水によって成ったのであって、

**6** 当時の世界は、その水により、洪水におおわれて滅びました。

**7** しかし、今の天と地は、同じみことばによって、火に焼かれるためにとっておかれ、不敬虔な者どものさばきと滅びとの日まで、保たれているのです。

**8** しかし、愛する人たち。あなたがたは、この一事を見落としてはいけません。すなわち、主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。

「終わりの日に、あざける者どもがやって来て、イエス・キリストの再臨という考えをあざける」とペテロは言いました。「もう2000年も経っているのに、キリストは何をしているのだ」といった類のことです。ペテロはここで、神によれば時間という概念も相対的で、一日は千年のようであり、千年は一日のようだという指摘をします。神は時空を創造されたお方です。ですから、時間や空間に縛られてはいません。時空を超越したお方です。

**2ペテロ 3:9** 主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、**すべての人**が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

「神がそれほど愛情深いのなら、なぜ悪い人を生かしておくのか」と言う人もいるでしょう。なぜそのような人たちを全滅させないのか、と。その理由は、神が私たち「に対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、**すべての人**が悔い改めに進むことを望んでおられる」からです。

「**すべての人**」とは文字通り、全員です。聖書は語ります。

**ロマ 3:23** **人は皆**、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっていますが、

ここでも、「皆」とは文字通り「みんな」です。私たち全員です。悪いことをした人を神が滅ぼされたら、人間はひとりもいなくなります。

**ロマ 6:23** 罪が支払う報酬は死です。しかし、**神の賜物**は、わたしたちの主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。

神が1997年5月25日以前に裁きを下されなかったことを感謝します。そうでなければ、私も全滅させられた一人だったことは確かです。罪は裁かれます。イエスがこの世の罪の代価を払ってくださったので、信じる者には無償で救いが与えられます。神は何をしておられるのでしょうか。どうしてこんなに時間がかかるのでしょうか。もしかすると、この中から今日ついに主を信じて、裁きを免れる人が出るのを待っておられるのかもしれませんが、けれども、先延ばしにするのは得策ではありません。

**2コリ 6:2b** 今や、恵みの時、今こそ、救いの日。

明日だと手遅れになるかもしれないからです。

**2ペテロ 3:10** しかし、主の日は、盗人のようにやって来ます。その日には、天は大きな響きをたてて消えうせ、天の万象は焼けてくずれ去り、地と地のいろいろなわざは焼き尽くされます。

ご存知の通り、この宇宙の物体はすべて原子からできています。この原子は、小さな太陽系のようなもので、陽子を含む原子核と、その周りをまわる電子で構成されています。聖書は科学書ではありませんが、科学の創造主によって書かれていますから、科学的なことがらについても言及します。後になって科学が発見したことを、常に確証づけてきました。

**ヘブル 11:3** 信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで造られたことを悟り、したがって、見えるものが目に見えるものからできたのではないことを悟るのです。

信仰によって、と書かれています。これは、2000年前に書かれました。現代人が事実として知っていることを、昔の人たちは信仰によって信じました。

電子顕微鏡がドイツの物理学者エルンスト・ルスカによって発明されたのは、1933年のことです。神は、見えないものから宇宙という物体を作られました。それは、原子と陽子、正電荷と負電荷です。原子のおもしろいところは、原子核の中に科学のミステリーと呼ぶべき現象が起こっていることです。それは、原子核が陽子の集まりで構成されていることです。陽子は正電荷（+）を持ちます。クーロンの法則によると、正電荷（+）同士には、反発力が生じます。それでは、これらの陽子をひきつけているのは何でしょうか。科学ではまだ説明されていません。それは「強い核の力」ではないか、と言う人もいます。そうです。この「強い核の力」が、宇宙を一つにまとめているものです。宇宙をひとつに保つほどの強い力を想像できるでしょうか。それほど強い力とは何でしょう。または、誰がそれほどまでに強いのでしょうか。パウロは、イエス・キリストについてこう語りました。

**コロ 1:17** 御子はすべてのものよりも先におられ、すべてのものは御子によって支えられています。

イエスがすべてのものから手を離されたら、どうなるでしょう。ペテロの言うとおりのことが起こるでしょう。

**2ペテロ 3:10** しかし、主の日は、盗人のようにやって来ます。その日には、天は大きな響きをたてて消えうせ、天の万象は焼けてくずれ去り、地と地のいろいろなわざは焼き尽くされます。

興味深いことに、原子を分裂させると、まったくそのようなことが起こります。私たちの見ているこの世界は、いつの日か消えてなくなります。天の万象は焼けてくずれ去ります。

**2ペテロ 3:11-12** このように、これらのものはみな、くずれ落ちるものだとすれば、あなたがたは、どれほど聖い生き方をする敬虔な人でなければならないことでしょうか。

**12** そのようにして、神の日の来るのを待ち望み、その日の来るのを早めなければなりません。その日が来れば、そのために、天は燃えてくずれ、天の万象は焼け溶けてしまいます。

すべてが燃えてなくなることを知っているなら、私たちはどのような姿勢でいればよいでしょう。イエスが私たちを常に支えてくださっていることを覚えておく必要があります。また、きよい生き方や敬虔さをおして、感謝を表すこともできます。

**2ペテロ 3:13** しかし、私たちは、神の約束に従って、正義の住む新しい天と新しい地を待ち望んでいます。

この世の終わりと聞いて、怖がる必要はありません。なぜなら、私たちは新しい天と新しい地を待ち望んでいるからです。この世も、悪い人さえいなければ、もっと住みやすいでしょう。この地球が住むのにふ

さわしくない腐敗した場所になったのは不義のせいです。しかし私たちは、義人の住む新しい天と新しい地を待ち望んでいます。

**2ペテロ 3:14-16** そういうわけで、愛する人たち。このようなことを待ち望んでいるあなたがたですから、しみも傷もない者として、平安をもって御前に出られるように、励みなさい。

**15** また、私たちの主の忍耐は救いであると考えなさい。それは、私たちの愛する兄弟パウロも、その与えられた知恵に従って、あなたがたに書き送ったとおりです。

**16** その中で、ほかのすべての手紙でもそうなのですが、このことについて語っています。その手紙の中には理解しにくいところもあります。無知な、心の定まらない人たちは、聖書の他の個所の場合もそうするのですが、それらの手紙を曲解し、自分自身に滅びを招いています。

ペテロはパウロの手紙を読んで、理解しにくいところもあると言っています。ある人たちは、パウロの教えを曲解し、神の恵みを歪曲し、罪を犯す印籠のように使って、自分自身の身に滅びを招きました。

**2ペテロ 3:17** 愛する人たち。そういうわけですから、このことをあらかじめ知っておいて、よく気をつけ、無節操な者たちの迷いに誘い込まれて自分自身の堅実さを失うことにならないようにしなさい。

無節操な者たちの迷いとは、以前と変わらず好きなように生きて、神が受け入れてくれると思うことです。

そんなことはありません。神は、失われた者を待っていてくださいます。しかし、永遠に待っておられるわけではありません。人がサタンの嘘を信じてしまうと、すっかりサタンの囚われ人になってしまいます。

人が真理を拒絶すると、何でも鵜呑みにして信じてしまいます。

パウロは、ローマ人への手紙の中で、神の真理を偽りと取り替え、自分自身を知恵のある者と言う人たちが愚か者とされた、と語ります。そして、このような人たちがとらわれてしまったあらゆる罪を挙げます。そして、このように締めくくります。

**ロマ 1:32** 彼らは、このようなことを行う者が死に値するという神の定めを知っていながら、自分でそれを行うだけではなく、他人の同じ行為をも是認しています。

「姦淫や殺人を犯したことはないし、あれやこれの罪も犯したことがない」と自負する人がいるかもしれませんが、けれども、パウロは言います。自分たちがするだけでなく、「**他人の同じ行為をも是認しています。**」それは、そのような内容のものを見たり読んだりするのを楽しむ人ということです。自分ではそんなことはしないが、他人がそうするのを認める行為です。私たちは気をつけなければなりません。サタンは餌食になる人をいつも探しています。「主よ、私たちが敵のわなについて無知ではありませんように。」イエスはこうおっしゃいました。

**ルカ 9:25** 人は、たとえ全世界を手に入れても、自分自身を失い、損じたら、何の得がありません。

人生は一度きりです。そして、すぐに過ぎ去ってしまいます。キリストのためになされたことだけが、いつまでも残るのです。それ以外のものはすべて焼かれてなくなります。ですから、永遠のもののために最善を尽くしましょう。霊的なもの、清く敬虔なものを目指して生きましょう。すぐに消え去ってしまうものに関わりあっている暇はありません。

主との関係において前進しないということは、後退しているということです。聖書は、立ち止まるという選択肢を与えません。聖書は常に前進する重要性を強調します。

ピリ 3:14 キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、**目標を目ざして一心に走っている**のです。

**1テモ 6:12** 信仰の戦いを勇敢に戦い、**永遠のいのちを獲得しなさい**。あなたはこのために召され、また、多くの証人たちの前でりっぱな告白をしました。

ユダ **1:3** 愛する人々。私はあなたがたに、私たちがともに受けている救いについて手紙を書こうとして、あらゆる努力をしていましたが、聖徒にひとたび伝えられた**信仰のために戦う**よう、あなたがたに勧める手紙を書く必要が生じました。

**ルカ 13:24** 「**狭い戸口から入るように努めなさい**。言っておくが、入ろうとしても入れない人が多いのだ。

ここでペテロは第二の手紙をこのように締めくくります。

**2ペテロ 3:18** **私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの恵みと知識において成長しなさい**。このキリストに、**栄光が、今も永遠の日に至るまでもありますように**。アーメン。

恵みにおいて成長するとは、クリスチャンとして成熟することです。恵みとは私たちが受けるに値しない祝福です。私たちが義認し、きよめ、天の栄光に与らせてくれるのは、神の恵みです。「恵みとは、神の富。ひとえにキリストの犠牲のおかげである。」

**エフェ 2:8** 事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。

**ロマ 10:17** 実に、信仰は聞くことにより、しかも、キリストの言葉を聞くことによって始まるのです。

私たちはみことばを読んで恵みにおける成長を遂げます。知れば知るほど成長し、成長すればするほど生き方に表れます。改めて、

**2ペテロ 3:18** **私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの恵みと知識において成長しなさい**。このキリストに、**栄光が、今も永遠の日に至るまでもありますように**。アーメン。

アーメン。祈りましょう。